

# みなと区議会だより

**No.185** 2011年(平成23年)4月11日

港区議会 / 〒105-8511 (専用郵便番号) 港区芝公園1-5-25 電話(3578)2111(代) <http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

## 第1回定例会

平成23年2月23日～3月17日

福島県いわき市への救援物資受付 (港区スポーツセンター)



東日本大震災で被災された方々に心からお見舞い申し上げます

## 平成23年度予算総額

# 1,519億2,203万円を可決しました

予算特別委員会で震災対策に関する集中審議を行い、被災された方々への支援に関する緊急決議を可決しました。

平成23年第1回定例会は、2月23日から3月17日まで開会され初日に区長から所信表明がされた後、13人の議員から区長及び教育長に対して、代表・一般質問が行われました。

質問は「より現実性、確実性のある財政計画の策定について」、「保育園待機児童ゼロ、75歳以上医療費ゼロ、特養ホーム待機者ゼロは区民の願い!」、「自転車運転安全条例の制定を!」、「地域主権改革について」、「総合防災訓練等に自衛隊の参加要請を。区民税の減税で区民に還元は?」、「効率的財政運営と充実した区民サービスの両立について/タバコ対策」、「麻布十番駐車場132億円税金投入の反省は活かされているのか?」、など区政全般にわたりました。

平成23年度の一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計の各予算は、予算特別委員会を設置し、3月7日から3月16日まで審査した結果、いずれも原案どおり可決しました。

区長から提出された案件を審議した結果、条例改正など19件、平成22年度補正予算5件を原案どおり可決しました。

みなさんから提出された請願は、4件を不採択、20件を継続審査としました。

議員提出による案件は、決議1件を可決したほか、5件を継続審査としました。

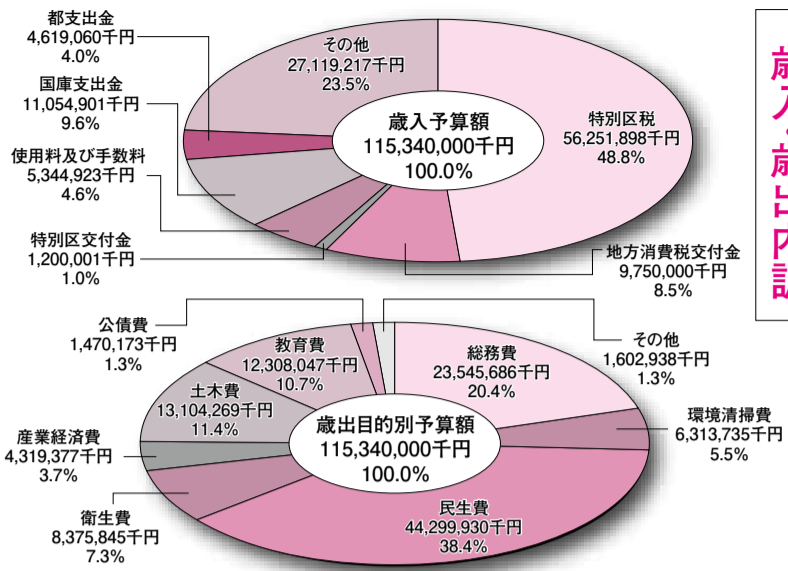
また、追加提出された人事案件は、教育委員会委員の任命の同意について2件同意し、人権擁護委員候補者の推薦について1件を可決しました。

## 目次

表紙・概要	1
予算特別委員会	2～3
代表・一般質問	4～6
請願、決議 委員会の活動	7
審議結果 第16期区議会 4年間のあゆみ	8

平成23年 第1回定例会会議日程	2月23日	運営委員会・本会議 会期決定 諸報告 区長所信表明 本会議
	24日	代表・一般質問5名 運営委員会・本会議
	25日	代表・一般質問8名 議案等付託 予算特別 委員会の設置
	3月1日	4常任委員会 議案等の審査
	2日	4常任委員会 議案等の審査
	3日	4常任委員会 議案等の審査
	7、11日	予算特別委員会 予算案の審査
	14日	東日本大震災について 報告を聴取
	15日	運営委員会 予算特別委員会 予算案の審査
	16日	予算特別委員会 審議 震災対策に関する集中 審議
	17日	4常任・4特別委員会 委員長報告・中間報告 運営委員会・本会議 議案等の議決

◆この「区議会だより」は、新聞(朝日・毎日・読売・日本経済・産経・東京)に折り込んでいます。また、郵便局(赤坂・一ツ木通・麻布・芝・芝公園・新橋・高輪)、公衆浴場、東京メトロ7駅(表参道・乃木坂・赤坂・広尾・神谷町・白金台・六本木一丁目)などに置いてあります。◆新聞を購読していない人のために、区の主な施設の窓口にもおいてあります。◆戸別配付も行っていますので、ご希望の方はご連絡下さい。◆「点字区議会だより」「声の区議会だより」も発行していますので、ご利用ください。【申し込み・問い合わせ先】区議会事務局調査係 3578-2921



一般会計予算  
歳入・歳出内訳



各会派の主な質問・要望事項

自民党議員団

【歳入】区民税の減収について、減収のメカニズムについて、今後の見通しについて、税収見通しの精度向上について

【総務費】震災対策(屋内)について、家具転倒防止対策等促進事業について、統一地方選挙について、投票率向上への取り組みについて、「北方領土の日」展示について、その意義について、他の領土問題について、六本木の安全特区構想について、マンションコミュニティの醸成について、町会間の連携について、消防団の訓練について、各地域消防団の訓練の支援について、麻布ものしり認定制度事業について、実績と成果及び今後の事業展開について、基本計画、後期計画策定について、人口推計の課題と考え方について、港区政策創造研究所の可能性について、人口推計の主体となることについて、芝浦協働会館の保存・活用の方向性について、文化財指定によって保存が決定した以降について、地域の防災リーダー育成について、防災士資格取得支援について

【環境清掃費】みなとモデル二酸化炭素固定認証制度について、みなと森と水サミットの成果について、制度の周知と拡大について、古着の資源回収について、古着の回収、リサイクルの要望を聞く、これまでの実施状況並びに実績について、回収後の流れについて、有栖川宮記念公園自然環境回復プロジェクトについて、活動経過と内容について、活動成果について

【民生費】障害者ケアホーム整備について、シテイハイツ芝浦の建替えに伴う障害者ケアホームの併設について、24時間対応定期巡回等訪問介護サービス事業について、介護家族支援について、高学年の障害者の居場所づくりについて、志田町保育園について、待機児童解消の推進について、介護予防事業について、埼玉県和光市の取り組みについて、港区としての取り組みについて

【衛生費】小児対応休日診療の拡大について、期待される効果について、平日準夜間対応について、周産期医療・小児医療連携協議会について、活動状況と成果について、愛育病院建設支援について、支援額算出の根拠について、各地域の料理飲食業組合の連携について、現在の保健所との関係について

【産業経済費】世界をリードする産業が活躍する場づくりについて、地元商店との連携について、商店街周辺市場志向調査、ベンチャー・コミュニティビジネス支援の成果と課題について、産業経済施設について、セーフティネット融資と小口零細保証融資について、観光の振興について、商店街活性化施策について、景気低迷による商店街の現状の認識について、歴史観光資源の活用・促進について

【土木費】プレーパークの実施について、自転車利用環境の整備について、札の辻交差点周辺まちづくりについて、橋りょう整備について、いわゆる芝浦3橋の整備方針について、自転車のマナーについて、啓発の必要性について、マンション管理・修繕等支援について

【震災対策】帰宅困難者対策について、訓練の教訓をどのように生かされたか、区施設活用と利用状況について、活用状況の問題点、今後の支援について、保

育園の対応について、保護者に建設計画を◆全ての在宅サービスの連絡がつかない、園児の引き取りに出来ないケースがあったか、またその対応について、防

災無線について、英語の分量に全線乗れる定期券、発着時刻の改善について、車両規制について、公

善)◆歩道橋を撤去しスクランブルに◆奨学金の返済免除を◆国保の掲示板をシールドに◆区民交通傷害(自転車)保険の

◆区民交通傷害(自転車)保険の周知を◆桂坂保育園の看護師は複数配置を◆健康診断の2次検診の受診率を高めるための対策を◆都

立芝公園の流れる小川の復活を◆分対策について、日本脳炎ワクチン未接種世代への取り組みについて、不妊症患者への公的支援について、【産業経済費】中小企業

の経営基盤強化への取り組みについて、商店街周辺市場志向調査について、プレミアム付き商品券発行拡大について、就職面接会の充実について、観光メルマガの情報管理と更新について、【土木費】

ちいばす停留所の屋根、ベンチの設置とルートの拡充について、高樹町交差点に平面横断歩道の設置について、【震災対策集中審議】

緊急地震速報装置の効果、帰宅困難者への支援のあり方、区立小・中学校と町会・自治会の連携、要

援護者のための二次避難所の開設、児童・生徒の保護者への情報提供のあり方について、【総括】

田町駅西口の放置自転車対策について、橋の長寿化のための修繕計画等について、浜松町駅周辺地区のまちづくりについて、天現寺橋交差点横断歩道のバリアフリー化について、ドッグランの整備に

ついて、緊急メール配信タイムラゲの解消策について、区有施設への木材利用について、高齢者が安心して暮らせる仕組みづくりについて、

◆区内での節電対策について◆精神障害者の公正確保について、【環境清掃費】第三次率先計画について、

◆ありすの杜のカーテン自己負担について、区民参加型カーボンオフセットは、はやめ◆特別養護老人ホームのトについて、みなとタバコルール

を3%負担に◆住宅リフォーム助成制度の創設を◆ちいばすの改善について(屋根かけ、ベンチ設置、置について、【民生費】高齢者見守り支援について、ひとり暮らし高齢者見守り事業について、災害時要援護者登録事業について、

◆奨学金の返済免除を◆国保の掲示板をシールドに◆区民交通傷害(自転車)保険の周知を◆桂坂保育園の看護師は複数配置を◆健康診断の2次検診の受診率を高めるための対策を◆都

立芝公園の流れる小川の復活を◆分対策について、日本脳炎ワクチン未接種世代への取り組みについて、不妊症患者への公的支援について、【産業経済費】中小企業

の経営基盤強化への取り組みについて、商店街周辺市場志向調査について、プレミアム付き商品券発行拡大について、就職面接会の充実について、観光メルマガの情報管理と更新について、【土木費】

ちいばす停留所の屋根、ベンチの設置とルートの拡充について、高樹町交差点に平面横断歩道の設置について、【震災対策集中審議】

緊急地震速報装置の効果、帰宅困難者への支援のあり方、区立小・中学校と町会・自治会の連携、要

援護者のための二次避難所の開設、児童・生徒の保護者への情報提供のあり方について、【総括】

田町駅西口の放置自転車対策について、橋の長寿化のための修繕計画等について、浜松町駅周辺地区のまちづくりについて、天現寺橋交差点横断歩道のバリアフリー化について、ドッグランの整備に

ついて、緊急メール配信タイムラゲの解消策について、区有施設への木材利用について、高齢者が安心して暮らせる仕組みづくりについて、

◆区内での節電対策について◆精神障害者の公正確保について、【環境清掃費】第三次率先計画について、

◆ありすの杜のカーテン自己負担について、区民参加型カーボンオフセットは、はやめ◆特別養護老人ホームのトについて、みなとタバコルール

を3%負担に◆住宅リフォーム助成制度の創設を◆ちいばすの改善について(屋根かけ、ベンチ設置、置について、【民生費】高齢者見守り支援について、ひとり暮らし高齢者見守り事業について、災害時要援護者登録事業について、

◆奨学金の返済免除を◆国保の掲示板をシールドに◆区民交通傷害(自転車)保険の周知を◆桂坂保育園の看護師は複数配置を◆健康診断の2次検診の受診率を高めるための対策を◆都

立芝公園の流れる小川の復活を◆分対策について、日本脳炎ワクチン未接種世代への取り組みについて、不妊症患者への公的支援について、【産業経済費】中小企業

の経営基盤強化への取り組みについて、商店街周辺市場志向調査について、プレミアム付き商品券発行拡大について、就職面接会の充実について、観光メルマガの情報管理と更新について、【土木費】

ちいばす停留所の屋根、ベンチの設置とルートの拡充について、高樹町交差点に平面横断歩道の設置について、【震災対策集中審議】

緊急地震速報装置の効果、帰宅困難者への支援のあり方、区立小・中学校と町会・自治会の連携、要

援護者のための二次避難所の開設、児童・生徒の保護者への情報提供のあり方について、【総括】

田町駅西口の放置自転車対策について、橋の長寿化のための修繕計画等について、浜松町駅周辺地区のまちづくりについて、天現寺橋交差点横断歩道のバリアフリー化について、ドッグランの整備に

ついて、緊急メール配信タイムラゲの解消策について、区有施設への木材利用について、高齢者が安心して暮らせる仕組みづくりについて、

◆区内での節電対策について◆精神障害者の公正確保について、【環境清掃費】第三次率先計画について、

◆ありすの杜のカーテン自己負担について、区民参加型カーボンオフセットは、はやめ◆特別養護老人ホームのトについて、みなとタバコルール

を3%負担に◆住宅リフォーム助成制度の創設を◆ちいばすの改善について(屋根かけ、ベンチ設置、置について、【民生費】高齢者見守り支援について、ひとり暮らし高齢者見守り事業について、災害時要援護者登録事業について、

◆奨学金の返済免除を◆国保の掲示板をシールドに◆区民交通傷害(自転車)保険の周知を◆桂坂保育園の看護師は複数配置を◆健康診断の2次検診の受診率を高めるための対策を◆都

立芝公園の流れる小川の復活を◆分対策について、日本脳炎ワクチン未接種世代への取り組みについて、不妊症患者への公的支援について、【産業経済費】中小企業

の経営基盤強化への取り組みについて、商店街周辺市場志向調査について、プレミアム付き商品券発行拡大について、就職面接会の充実について、観光メルマガの情報管理と更新について、【土木費】

ちいばす停留所の屋根、ベンチの設置とルートの拡充について、高樹町交差点に平面横断歩道の設置について、【震災対策集中審議】

緊急地震速報装置の効果、帰宅困難者への支援のあり方、区立小・中学校と町会・自治会の連携、要

援護者のための二次避難所の開設、児童・生徒の保護者への情報提供のあり方について、【総括】

田町駅西口の放置自転車対策について、橋の長寿化のための修繕計画等について、浜松町駅周辺地区のまちづくりについて、天現寺橋交差点横断歩道のバリアフリー化について、ドッグランの整備に

ついて、緊急メール配信タイムラゲの解消策について、区有施設への木材利用について、高齢者が安心して暮らせる仕組みづくりについて、

◆区内での節電対策について◆精神障害者の公正確保について、【環境清掃費】第三次率先計画について、

◆ありすの杜のカーテン自己負担について、区民参加型カーボンオフセットは、はやめ◆特別養護老人ホームのトについて、みなとタバコルール

を3%負担に◆住宅リフォーム助成制度の創設を◆ちいばすの改善について(屋根かけ、ベンチ設置、置について、【民生費】高齢者見守り支援について、ひとり暮らし高齢者見守り事業について、災害時要援護者登録事業について、

◆奨学金の返済免除を◆国保の掲示板をシールドに◆区民交通傷害(自転車)保険の周知を◆桂坂保育園の看護師は複数配置を◆健康診断の2次検診の受診率を高めるための対策を◆都

立芝公園の流れる小川の復活を◆分対策について、日本脳炎ワクチン未接種世代への取り組みについて、不妊症患者への公的支援について、【産業経済費】中小企業

の経営基盤強化への取り組みについて、商店街周辺市場志向調査について、プレミアム付き商品券発行拡大について、就職面接会の充実について、観光メルマガの情報管理と更新について、【土木費】

ちいばす停留所の屋根、ベンチの設置とルートの拡充について、高樹町交差点に平面横断歩道の設置について、【震災対策集中審議】

緊急地震速報装置の効果、帰宅困難者への支援のあり方、区立小・中学校と町会・自治会の連携、要

援護者のための二次避難所の開設、児童・生徒の保護者への情報提供のあり方について、【総括】

田町駅西口の放置自転車対策について、橋の長寿化のための修繕計画等について、浜松町駅周辺地区のまちづくりについて、天現寺橋交差点横断歩道のバリアフリー化について、ドッグランの整備に

# 平成23年度予算特別委員会

2月25日の本会議において、全議員34名で構成する「平成23年度予算特別委員会」(杉原としお委員長、沖島えみ子副委員長、藤本潔副委員長)を設置し、平成23年度各会計(一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計)予算の4案について3月7日から16日まで審議が行なわれました。

この中で、3月11日に発生した東日本大震災について、14日に区内外の震災状況の報告を聴取し、15日に震災で亡くなられた方々に黙とうを捧げ、その後、震災対策についての集中審議が行われました。主な内容は被災地への支援策や区内被害への対策など多岐にわたりました。

3月16日の予算特別委員会最終日において、各会派が予算4案に対して態度表明を行い、予算4案は賛成多数で可決されました。

その後、3月17日の本会議において、予算4案がそれぞれ賛成多数で可決されました。

## 平成23年度各会計予算

会計別	予算額	対前年度当初予算増減率
一般会計	115,340,000千円	6.3%
国民健康保険事業会計	20,720,220千円	6.1%
後期高齢者医療会計	4,134,069千円	3.6%
介護保険会計	11,727,736千円	3.9%
合計	151,922,025千円	6.0%

## 各会派の主な質問・要望事項

### フォーラム民主

【議会費】①議会の機能強化について

【総務費】①ペットと防災について②開南丸を通じた芝浦・港南区と秋田県にかほ市の交流について③区有地の活用について④NPO法人と連携し、DV対策を⑤住民生活に光をそそぐ交付金の活用について⑥職員研修について

【環境清掃費】①みなと区民の森について②自動車と大気汚染について③生ごみの資源化について

【民生費】①保育園の待機児童解消について②多胎児の支援について③緊急一時保育について④病児・病後児保育の拡大について⑤妊娠出産時ホームヘルプサービスの拡大について⑥子ども手当の支給について⑦学童クラブの時間延長について⑧ひとり暮らし高齢者見守り推進事業について⑨高齢者のセーフティネットワークを⑩グループリビングの利用について⑪幼保一体化施設について

【産業経済費】①中小企業の事業継承について

【土木費】①「ちいばす」事業について②台場のシャトルバスについて③プレレパークの設置について

【震災対策】①海外の報道について②ヨード剤購入について③区のツイッター利用について④防災無線・HP・CATVを利用した情報の提供について⑤帰宅困難者の避難所開設について⑥帰宅支援マップの活用について

### 【総括質問】

①区民要望が多い、区立幼稚園の3年保育とサポート保育の拡大について②東町小学校で実施

される国際学級の設置について③原発から避難している方々と被災された方々に区有施設で緊急的に受け入れを④札の辻近辺の街づくりについて⑤夕風橋の架け替え工事は自転車と歩行者の歩車分離を⑥行政改革の取り組み強化について

### 保守日本

【総務費】①工事請負契約における最低制限価格制度の状況は②業務委託における最低制限価格制度の導入は③青色パトロールの契約について④防災学校について⑤自衛官OBの採用は⑥危機管理対策について⑦六本木地区の生活安全について⑧新橋地区の環境美化について⑨庁有車事故防止について【環境清掃費】①ビルピット臭気対策は②高放射率塗装工事費助成について③熱線・紫外線遮断フィルムやコーティング材による遮熱対策への助成は④区有施設低炭素化推進について⑤建築物低炭素化促進について⑥みなとタカコールの推進について⑦環境美化啓発について⑧六本木地区の事業系ごみについて【民生費】①ゼロ歳児に限った1人あたりの年間コストは②民間保育サービスの参入について【衛生費】①がん患者の在宅緩和ケアについて

【産業経済費】①ものづくり技術継承事業について【土木費】①麻布台一丁目・六本木一丁目間の区道について②六本木三丁目階段の改善について③赤羽橋交差点角建築計画について【震災対策】①連絡要員として自衛官OBの活用は②災害救助犬の育成訓練について③節電対策について【総括質問】①震災発生下の予算編成について②耐震化支援事業について③家庭福祉員(保育ママ)の導入は④朝鮮学校保護者補助金について

### 仲間へ勇気の会

区民の皆様からいただいたご意見をふまえ、区政全般にわたり、無駄の削減、公平性の確保、必要性の高い事業の充実の観点から予算審議に臨んだ。

以下、主な質問要望項目。

■震災対策 ■区内事業者の支援と契約の公平性 ■実効性のある事務事業評価について ■効果的な路上喫煙対策について ■環境影響調査の改善について ■高齢者の住まいの確保について ■銭湯の減少について ■児童虐待防止について ■緊急暫定保育施設の存続についての保護者説明のあり方 ■地域猫活動の支援充実 ■自殺対策 ■自転車利用環境の整備促進 ■不健全な交差点の改善 ■ちいばすの各種改善と収支について ■外苑前3番出口の改善 ■小1プロブレム対策、他。

### みんなの党

一旦決めた事業を見直せない役所の体質を改革せよ(田町公共施設整備600億円予定)  
徹底した行政改革の実行と成果を還元する減税を(基本計画ハコもの建設1400億円予定)  
情報システム開発・運用、費用対効果を明確にし公表せよ(新システム導入48億円予定)

役割を終えてなお天下りも受け入れているキスポート財団を廃止せよ(指定管理者選定過程にも疑念あり)  
家庭が子どもの育ちに極めて重要との認識を(乳幼児一人当たり年間公費負担・施設保育121万円/家庭保育6万円)  
中小企業投資制度導入で税金に頼らない産業振興を(港区制度融資年間公費負担・22億円)

平成23年度  
予算に対する

## 各会派の態度表明

自民党議員団  
予算審議において、我が会派から出された意見及び要望が反映されることを強く要望する。区長においては、現下の厳しい状況を踏まえ、区民のために区政運営に責任を持って全力で取り組まれるよう望む。予算4案については、いずれも原案に賛成する。

共産党議員団  
保育園待機児童ゼロの対策もなく、特養ホーム建設計画もない。高齢者医療費無料化も実施せず、国保料を9年連続値上げ。その一方で、森ビルなどの再開発に31億円の補助金を支出し、4百億円を投入する田町駅東口北地区計画を区民不在で推進する予算4案に反対する。

公明党議員団  
平成23年度予算4案については、我が会派から述べました意見、要望が十分反映されるよう期待いたしました。いずれも賛成いたします。

フォーラム民主  
東日本大震災において、亡くなられた方にご冥福をお祈りし、被災された方々へは、心からお見舞いを申し上げます。一日も早い被災地の復興のため、議員として全力で取り組みます。予算4案には賛成ですが、区民の安全安心を確保する一層の取り組みを進めることを強く要望します。

保守日本  
平成二十三年度港区一般会計予算他三案に保守日本は会派としては賛成します。しかし会派内には多額の税金を使う過剰な行政サービス、朝鮮学校保護者補助金に反対している議員もおります。予算執行には震災被害、拉致事件への区民感情に十分配慮されることを強く要望します。

仲間へ勇気の会  
区民税収入が減収傾向の中、田町駅東口の施設整備など多くの財政需要がある。今後の基金の大幅減も明白。現在区財政は依然良好だが楽観は出来ない。事業の必要性や効果を厳しく見極め無駄を省くとともに優先度の高い事業を充実させ、区民満足度の高い区政の実現を。予算4案は賛成。

みんなの党  
港区また我が国を取り巻く環境は大きく変化している。政治を劇的に変える時期が到来している。従来踏襲では将来世代に区政を引き継げない。いわゆる田町開発の継続が見直しかは区政改革への姿勢をはかる重大な物差し。みんなの党は明確に「見直し」。一般会計予算案に反対する。

# 代表・一般質問

(要旨)

2月

24・25日

## より現実性、確実性のある 財政計画の策定について

### 自民党議員団

質問 人口増と税収減の食い違いという点を解明し検討されたい。

答弁 基本計画の後期3年の見直しに伴う財政計画の策定では、これまでの人口動向と特別区民税収入状況を分析・解明する。

### 子ども・子育ての問題について

質問 ①待機児童解消の今後の取り組み。②認可保育園への指定管理者制度の導入。③総合的な子育て施策。④虐待への対応は。

答弁 ①区立認可保育園の新設や改築だけでなく、緊急暫定保育施設の継続や増設の検討、私立認可保育所や認証保育所の誘致など多様な手法で定員拡大する。更に、民間開発事業者の生活利便施設等の整備に係る事業者の責務として、認証保育所や子育て支援施設等の設置を誘導。②延長保育や休日保育、一時保育等の在宅子育て家庭への支援事業など多様なサービスを実施する上で、迅速で柔軟な組織運営や職員配置のできる民間事業者による運営は不可欠。特に安全・安心に配慮するよう指導する。③保育ニーズに対応するほか、全ての子育て世帯への支援を拡充。④子ども家庭支援センターを課長級の組織とし、虐待相談体制の強化と緊急時における迅速で高度な判断ができる体制を確立。都から特別区への児童相談所の早期移管に対応する。

### 高齢者・障害者への福祉施策は

質問 ①在宅高齢者への支援の充実。②多様な住まいの整備への検討。③障害児・者の通園・通所施設の現況と今後の対応。④発達支援センター事業の拡充。

答弁 ①在宅高齢者への支援の充実を踏まえた今後の対応は。⑤重度障害者本人と家族の高齢化を踏まえた今後の対応は。

答弁 ①高齢者が親しみやすく気軽に相談できるように、地域包括支援センターに高齢者相談センターという通称名を付けて、高齢者の見守りと支援につなぐ相談員を各地区に配置。②「24時間対応定期巡回等訪問介護事業」で、在宅生活を支援。入所希望者の分析や保健福祉基礎調査の結果等を踏まえ、在宅介護施設や小規模多機能施設介護付き賃貸住宅など幅広く検討。③保健福祉基礎調査の結果等を踏まえ、利用者の増加傾向も勘案し、地域保健福祉計画の改定で検討。④センター事業として機能を確立し、区内保育園、児童館や保健所等関係機関との一層の連携強化や情報共有化を促進。区役所での専門相談と、区内各保育園での巡回相談を行う。さらに、区民向けの講演会や職員向けの研修を引き続き実施し、生涯を通じた切れ目のない支援を実施。⑤シテイハイツ芝浦の建て替えに併せて、ケアホーム整備の中で医療機関等との連携を検討。重度障害者が安心して暮らせる住まいの確保は、障害者ニーズや生活状況等を見極め、地域保健福祉計画改定で検討。

### 中小企業振興策について

質問 ①効果的で継続的な支援施策を実施すべき。②小規模企業の事業継続支援について。③第三次港区産業振興プランの前倒しについて。④観光を活用した商店街振興策の推進について。

答弁 ①港区独自の(仮称)港区セーフティネット融資を創設し不況下での支援を継続。中小企業の声や景況調査の結果等を踏まえ、区ならではの振興策を展開。②新設する事業継承に伴う設備更新等の費用の補助と併せ、事業継承セミナーにより知識やノウハウを提供。出前経営相談において、小規模企業に中小企業診断士等の専門家を派遣し個別課題解決を支援。③海外販路拡大支援などプランの計画計上事業を前倒しで実施。緊急支援融資やプレミアム付き区内共通商品券の発行も支援。今後も前倒しでの実施を検討。④臨時観光インフォメーションコーナーを開設し、歴史観光イメージキャラクター「江姫」を活用した商店街の取り組みや区内観光資源を紹介。港区観光協会や港区商店街連合会等と連携し、区内商店街や中小企業の活性化を図る。

答弁 ①効果的で継続的な支援施策を実施すべき。②小規模企業の事業継続支援については、第三次港区産業振興プランの前倒しについて。④観光を活用した商店街振興策の推進について。

### 南麻布五丁目区有地を活用した広尾駅のバリアフリー化と施設整備

質問 一刻も早く実施を。

答弁 東京地下鉄株式会社と協議を重ね大枠で合意。今年度中の覚書の締結に向け協議、早期のバリアフリー化と整備に努める。

質問 一刻も早く実施を。  
答弁 東京地下鉄株式会社と協議を重ね大枠で合意。今年度中の覚書の締結に向け協議、早期のバリアフリー化と整備に努める。

### 港区のまちづくりについて

質問 ①田町駅東口北地区の新たな都市の拠点ゾーンの誘導方針。②まちづくりガイドラインは。

答弁 ①街づくりビジョンに定めた新たな都市の拠点ゾーンの街づくりの方向性の実現のため、地権者の方々と開発事業者との話し合いをさらに促進。よりよい街づくりに向けた合意形成を図るよう指導・誘導。②街が大きく変化する地域では、区が先行して都市基盤の再整備を含めた総合的な街づくりの取り組み方針の明示が必要。区民、企業、多様な人々等との合意形成を図り、地域のガイドラインを策定。

質問 ①田町駅東口北地区の新たな都市の拠点ゾーンの誘導方針。②まちづくりガイドラインは。  
答弁 ①街づくりビジョンに定めた新たな都市の拠点ゾーンの街づくりの方向性の実現のため、地権者の方々と開発事業者との話し合いをさらに促進。よりよい街づくりに向けた合意形成を図るよう指導・誘導。②街が大きく変化する地域では、区が先行して都市基盤の再整備を含めた総合的な街づくりの取り組み方針の明示が必要。区民、企業、多様な人々等との合意形成を図り、地域のガイドラインを策定。

### 区立幼稚園の3年保育の拡充を

質問 幼児教育の重要性から伺う。幼児期は人格形成の基礎を培う重要な時期。区民の期待からも3年保育拡充に取り組み。

答弁 幼児期は人格形成の基礎を培う重要な時期。区民の期待からも3年保育拡充に取り組み。

質問 幼児教育の重要性から伺う。幼児期は人格形成の基礎を培う重要な時期。区民の期待からも3年保育拡充に取り組み。  
答弁 幼児期は人格形成の基礎を培う重要な時期。区民の期待からも3年保育拡充に取り組み。

### 規制緩和を活用した耐震化促進を

質問 建築物の耐震化は規制緩和や法改正が必要と考えるが。

答弁 防災上重要な課題。促進に向けた規制緩和を含め、課題解決に必要な方策について、関係機関へ要請し引き続き取り組む。

質問 建築物の耐震化は規制緩和や法改正が必要と考えるが。  
答弁 防災上重要な課題。促進に向けた規制緩和を含め、課題解決に必要な方策について、関係機関へ要請し引き続き取り組む。



▲旧国立保健医療科学院

## 保育園待機児童ゼロ、75歳以上医療費ゼロ、特養ホーム待機者ゼロは区民の願い！

### 共産党議員団

### 保育園待機児童解消について

質問 ①区長は待機児童解消は喫緊の課題というが、いつまでに解消するのか。明確な答弁を。②必要な認可保育園の建設計画を急ぎ、早急に建設に着手を。③一刻も早く待機児童を解消するためには、新たな緊急暫定保育施設が当面必要。引き続き緊急暫定保育施設の設置を急ぐべき。④無認可保育園保護者への保育料助成を。⑤認証保育所保育料補助金は、補助区分を細分化し引き上げを。

### 75歳以上の方の医療費無料化について

質問 ①区民の福祉、健康を守るのは自治体の責務。「高齢者がいつも健やかでいきいき」と常々唱える区長なら、75歳以上の医療費負担をゼロにするよう国及び東京都後期高齢者医療広域連合に求めるべき。②国が実施するまでの間、区として、当面75歳以上の医療費をゼロにする助成制度を実施すべき。

答弁 ①75歳以上の医療費無料化

質問 ①全ての子どもたちの健やかな育ちを地域で支える施策の推進が基本。②要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関との連携を強化し、区と地域が一体となり虐待対策を推進する。

質問 区の取り組みを伺う。  
答弁 都心特有のマーケットニーズ把握のため、商店街で周辺市場志向調査を実施。地域特性を生かした、地域ニーズに応える魅力ある商店街づくりを進める。

質問 区長は強いメッセージを。身近な施設の「いきいきプラザ」で事業を充実。24年度末完成予定の介護予防総合センターで多様な取り組みを実施する。

質問 家庭に恵まれない子どもたちのための施策について  
答弁 ①基本的な考え方を。②児童虐待の根絶について伺う。  
答弁 アンケート調査の結果や日頃のご意見を踏まえ検討する。

質問 介護予防事業の取り組みについて  
答弁 ①介護家族の会の活動を支援し、介護者が孤立することのない地域社会を目指す。②相談員が積極的に訪問し生活実態を把握し、町会・自治会、民生委員等と連携し不安解消に努める。

質問 協議会の事務負担や財政負担の軽減をすべき。  
答弁 アンケート調査の結果や日頃のご意見を踏まえ検討する。

は慎重に対応すべき。このため国及び広域連合に求めることは考えていない。②負担と給付の関係からも、75歳以上の医療費無料化は慎重に対応すべき。区として医療助成制度の実施は考えていない。

特別養護老人ホームの待機者をゼロに

質問 特養ホームの待機者はいつこうに解消されない。特養ホームは希望する人が、いつでも入れるのが本来の介護保険制度。待機者ゼロの立場で必要な建設計画を直ちに策定すべき。

答弁 特別養護老人ホームの建設計画については、今後の要介護認定者数の推移を見定め、入所希望者の状況や保健福祉基礎調査の結果等を踏まえ、平成23年度の地域保健福祉計画改定の中で幅広く検討していく。

絶対高さ制限を設定するために

質問 区民アンケートでも、「高層ビルはいらない」「開発をコントロールすべき」の声は、85%にのぼっている。「高さ制限」を求める声は76%。前定例会で区長は、「一律に決まった数値で高さ制限を定めるのではなく、地域特性を考慮する必要がある」と答弁した。これでは、再開発や総合設計を活用すれば、どこにでも超高層が建てられる。区民の声を正面から受け止め、絶対高さ制限を設けるべき。

答弁 一律に高さ定めることによって既存不適格となる建築物の建替えとの調整等、様々な課題に対処する必要がある。区民との合意形成を図りながら、港区にふさわしい高さ制限のあり方を検討していく。

住宅リフォーム助成制度創設を

質問 深刻な経済危機の下で、中小業者の経営と地域経済をどう守るかが重要課題となつてい。全国では数年前から、地元業者に住宅リフォームを発注した住民に費用の一定割合を助成する「住宅リフォーム助成制度」を実施する自治体が増えてきている。港区でも是非事業化すべき。その際、マンションのリフォームも対象にすること。全国の進んだ自治体の実態把握を速やかに、来年度中の実施となるよう急いで事業化を。

答弁 現時点で一般的な住宅リフォームへの助成制度の創設は考えていない。

高校卒業世代までの医療費無料化について

質問 高校生世代を抱える世帯の負担軽減を図るため、高校卒業の年代までの医療費を無料に。

答弁 子ども医療費助成は、病気にかかりやすい義務教育就学期間までを対象としている。義務教育終了後は、罹患率も低くなることから、助成対象の拡大は、現在考えていない。

ヒブ・小児肺炎球菌・子宮頸がん予防ワクチン接種について

質問 ①23区の多くが実施した2010年4月に遡って助成すべき。②子宮頸がん予防ワクチンについては、中学1年生から高校1年生が対象。制度発足時点での特例として限定的に、対象外となつてしまふ高校2年生以上で20歳までの希望者も助成の対象とすべき。③国に対しては、定期接種化するよう要請を。④国は、自治体への助成を2011年度末までとされている。助成の延長を要請すること。

答弁 ①平成23年4月から助成を

自転車運転安全条例の制定を！

公明党議員団

実施していく。遡及については考えていない。②国の補助対象年齢は、接種の有効性を考慮して決められているので、対象年齢の拡大は考えていない。③④区としても、全国保健所長会等を通じて、定期接種化や費用助成の延長につき要請していく。

質問 所信表明について。①今後の財政運営と、②港区基本計画の後期3年の見直しについて。

答弁 ①中長期的視点に立ち計画的、安定的な財政運営を行う。②区民の意見を最大限反映する。

新たな中小企業融資制度の創設を

質問 見解と周知について。

答弁 中小企業の実情を踏まえ、資金繰り支援の充実が必要と判断。いきいきプラザ事業の充実と目的達成について

在宅介護サービスの新規事業

質問 各種事業の①利用者への周知と、②自己負担について。

答弁 ①高齢者相談センターなどを通じて周知を図る。②利用者に一定の自己負担を求める。

認可保育所を設置する事業者への支援について

質問 事業の可能性、実現性は。

答弁 支援を推進していく。

ドッグラン整備の今後の取り組み

質問 区内各地域への設置を。

教育委員会事務局の事業について

質問 ①ゆとりある教育課程の活性化について。②特色ある教育活

齢の拡大は考えていない。③④区としても、全国保健所長会等を通じて、定期接種化や費用助成の延長につき要請していく。

自転車運転の総合政策について

質問 ①自転車道の実証実験とアンケート調査結果の活用は。②自転車運転安全条例の制定を。

答弁 ①貴重な基礎資料として活用。②条例制定も含め、安全対策事業を総合的に検討していく。

広尾駅のバリアフリー化について

質問 ①進捗状況と具体化について。②駅周辺の整備について。

答弁 ①エレベーター及びエスカレーターを設置する方向で調整。②バリアフリー化に取り組む。

旧国立保健医療科学院の改修について

質問 改修工事に臨む姿勢は。

答弁 専門的な知見を幅広く聴き、改修工事に反映する。

「買物難民」対策と区の取り組み

質問 ①高齢者の買物ニーズの把握調査を実施すべきと考える。

答弁 ①政策創造研究所の調査で課題を把握し対応に努めていく。②港区商店街連合会と連携し、検討していく。

不妊症治療費助成について

質問 助成策を実施すべき。

答弁 厚生労働省の研究の動向を見定め対応していく。

港区チャレンジコミュニティ大学について

質問 ①定期利用保育事業の拡充について。②質の高い保育人材の確保について。

答弁 ①検討していく。②区全体の保育士の質の向上に努める。

地域主権改革推進のための地方自治体の方向性について

質問 区長に見解を伺う。

答弁 「都心における望ましい地域自治」の実現を目指す。

買物難民対策と区の取り組み

質問 ①高齢者の買物ニーズの把握調査を実施すべきと考える。

答弁 ①政策創造研究所の調査で課題を把握し対応に努めていく。②港区商店街連合会と連携し、検討していく。

国際学級開設に向け情報提供等を

質問 ①区民への情報提供について。②外国人からの意見や要望の聴取について。

答弁 ①周知に努める。②開設準備検討委員会です十分検討する。

港区の生物多様性の保全と再生に向けた取り組みについて

質問 今後の取り組みについて。

答弁 区民参加の生物生息環境調査など、様々な取り組みを推進。

職員の人材育成について

質問 今後どのようにして人材育成していくのか。

答弁 職員同士お互いの資質を高め合うことを職場風土とする取り組みを推進し、職員の育成に努める。

生活保護について

質問 ①制度自体や運用面での見直しについて。②生活保護制度の出口対策について。

答弁 ①今国会で生活保護法の改正に向けた準備が行われているなか、保護受給者の状況に合わせた適切な運用に努める。②就労、自立支援などを行っているNPO法人など、外部の専門的な力を活用し、より一層保護受給者の自立支援に努める。

自転車利用について

質問 ①自転車利用環境の整備計画の策定について。②事故への備えと自転車の安全利用啓発について。

答弁 ①安全で安心して走行でき



▲バリアフリー化が待たれる広尾駅周辺



▲高輪橋架道橋下区道

地域主権改革について

フォーラム民主

高輪橋架道橋下区道の整備について

質問 平成30年度頃の整備完了を目指すというが、早期の整備完了を目指せないか。

答弁 安全確保に向けた鉄道事業者との綿密な調整が必要となる。今後、早期完成を目指して、関係者と協議を進めていく。

質問 区長の見解を伺う。

答弁 民生・児童委員の負担軽減を図り欠員解消に努める。

質問 都や国等との取り組みは。

答弁 支援のための具体的な方策について検討する。

小・中学校へのICT機器の導入

質問 更なる導入を進めて欲しい。

答弁 今後とも充実を努める。

◎代表・一般質問

るよう、自転車走行ネットワーク計画及び自転車走行空間の整備計画を策定していく。②区民交通傷害保険の自転車賠償責任プラン特約への加入PR強化を

区有施設における地球温暖化対策の推進について

田町駅東口北地区公共公益施設をはじめとした区有施設においての取り組みをどのように進めていくのか、検討の状況と今後の方針は。

区有施設の木材活用や省エネ対策等に率先して取り組み、民間事業者の低炭素社会に向けた取り組みを促す。

特別支援教育について

①発達障害のある児童・生徒への支援や特別支援学級の設置状況について。②特別支援教室の設置について

平成18年度から学習支援員を配置し、東町小学校では情緒障害等通級指導学級、平成22年度から赤坂中学校に自閉症・情緒障害固定学級を設置している。②現在、区独自に小学校4校で試行的に特別支援教室を設置し、成果等を検証するとともに「東京都特別支援教育推進計画

第三次実施計画」に基づき、適切に支援を行っていく。

新郷土資料館について

①旧国立保健医療科学院の保存、活用に向けた課題について。②課題解決の工夫について。

①展示空間の確保、展示物の重量に耐えられる床の確保など。②間仕切りや床の撤去・改修で対応するとともに、専門的な意見を広く求め、諸課題の解決を図っていく。

DV対策について

被害者支援の大半は民間団体等で運営されていますが、協働にあたり、区民の負担への配慮等に問題はないでしょうか。①NPO法人との連携について。②国から交付される、住民生活に光をそそぐ交付金について。③区を挙げての支援体制について。

①NPO法人などの支援団体と連携し、相談者の立場に立った相談や支援を充実させていく。②これまで光を当てられてこなかった「DV対策」等に対する地方の取り組みを支援するため創設された交付金。③昨年、男女平等参画行動計画を策定し、11施策、29事業を計上し区を挙げて積極的な事業展開を行う。

総合防災訓練等に自衛隊の参加要請を。区民税の減税で区民に還元は？

保守日本

旧三河台中学校跡地の有効活用について

跡地は麻布警察署用地でなく三田警察署等跡地との交換となった経緯は

田町駅西口周辺整備に繋が

今後の建設スケジュールは。

保育園・協働スペースは平成23年度に設計に着手、24年度に工事に着手し、26年度に竣工を予定。麻布図書館・子育て広場「あっぱい麻布」は23年度に設計・着工、26年度に竣工を予定。

防災訓練等への自衛隊参加について

総合防災訓練に警察・消防は参加しているが自衛隊は参加していない。災害対策本部訓練を含め、自衛隊の参加要請を検討したい。

総合防災訓練は、自助・共助による防災の向上が目的。自衛隊の参加は、訓練目的や内容を考慮し、地域の方々のご意見を聴きながら検討する。災害対策本部訓練は、実践的、効果的なものとする方策を検討する。



▲みなと区民まつりにて

有栖川宮記念公園に茶室等設置について

魅力あふれる公園を目指すために、和式の建物や茶室を設置する事を検討したい。

茶室等の設置には区民ニーズの把握や将来的な運営体制等の検討すべき課題がある。今後他区の事例などを参考に検討する。

区民税の減税について

区は税金の余り分を目玉施策や貯金に充てて来た。無駄をカットし民営化を進め、減税により区民に還元しては。

貴重な税金をもとに、港区ならではの質の高い行政サービスを提供し、区民の生活基盤を整備していく。

朝鮮学校保護者補助金の見直しの具体案について

見直しの具体案は。また都

効率的財政運営と充実した区民サービスの両立について/タバコ対策

仲間へ勇気の会

23年度の区民税収入は21年度決算比で約百億円減収の予測。区財政は依然良好だが、区民税収入は減少傾向でバブル崩壊時以来の厳しい状況にあり、一方多くの施設整備計画により今後の基金の大幅減は明白。しかし未だ多くの区民は港区はお金があるからという認識。港区は他自治体より人口に比して財政規模が膨大で、住民サービスが充実している一方、優先順位を考えると必要性や効果に疑問のある事業もある。今までの右肩上がりの区財政にかげりがあること、その上でどこを削り、豊かな区民サービスを維持していくのか、区の財政見通しと区民サービスの方向性を明らかにし、区民にわかりやすく説明すべき。

景気見通しが依然不透明で、厳しい状況は当面続くこと予想され、今更以上に効率的財政運営が必要。基金や区債を活用し、基本計画の着実な推進と優先度の高い施策に積極的に取り組む。今後もあらゆる機会を通じ区民

は支出中止を、大阪府や千葉県も予算計上を見送ったが区の姿勢は。

代理人申請を来年度から保護者直接申請に変更する。対象を朝鮮学校に限定していること、所得に関係なく補助金を交付していることなどについても早い時期に改善を図りたい。補助金は保護者の経済的負担を軽減することを目的にしている。保護者の授業料納入を確認し制度本来の趣旨に沿った対応が可能と考える。

歩行喫煙やポイ捨てが一向になくならない状況に不満が募る。問題解決には受け皿整備(受動喫煙防止に配慮した喫煙スペースや灰皿の確保)と守らない人の罰則という二段構えで行かないと目に見えた効果は得られないと確信する。喫煙させないよう灰皿を撤去するなど理想論からではなく、現実に即した効果ある対策が必要。

港区は条例や罰則による規制ではなく、マナー向上による問題解決を目指している。今後ルールを徹底に努める。



麻布十番駐車場132億円税金投入の反省は活かされているのか？

みんなの党

麻布十番駐車場三セク運営会社は132億円を超える税金投入の末倒産した。その検証報告書に次のくだりがある。「行政として、一旦路上駐車問題の解決という公益目的を明確に定め、その達成のための諸条件を検討・確認し、区民の皆様と議会の了承を得られた事業を途中で見直したり、あるいは中止するためには、その理由を明らかにすることはもとより、過去の経緯やこれまで投入してきた資金や人などの資源等の意義を踏まえる必要があることから、迅速

な意思決定は容易ではなく、事業の目的が公益性の高いものであれば、なおさら多少のマイナスイヤ因で断念すべきでないという意向が働くのも、ある意味当然といえます。私は16年間、このコメントに象徴される「我が国明治期以来続く「官主導」の体質と一貫して戦ってきた。要約すれば「一旦始めた役所の仕事を途中で止めないのは当然だ」「公益と云えばいくら税金投入されようが途中で断念しない」ということ。まさに官主導。失敗を失敗と認めず、決断できな

かったことの反省がなく、税金投入しないの方針が貫かれなかったことの責任は誰もとらない。このコメントを是とするから、急激な税収減となっても田町駅東口北地区公共事業は無修で継続され、一度決めた基本計画事業の完全実施を変えられない。必要性の精査不十分にハコもの等事業が、役所の財布に金がある分どんどん積み増される。このような行政の体質をコントロールすることがまさに政治の役割だ。政治が大方針を示すと同時に、状況に応じて事業の実施や中止の決断を果たさねばならない。区長の認識を問う。答弁 検証結果を踏まえた教訓を全職員に徹底した。

【各会派の連絡先】

Table with 4 columns: Party Name, Phone, Fax, and Address. Includes parties like 自民党, 公明党, 保守日本, and みんなの党.

# 区民のみなさんから 提出された請願

## 不採択とした請願

- ▼田町駅東口北地区公共公益施設に関する請願
- ▼エンディングノート利用提案に関する請願
- ▼絶対高さ制限の導入と天空率制度の見直しを求める請願
- ▼絶対高さ制限の導入と天空率制度の見直しを求める請願

## 継続審査とした請願

- ▼港区芝増上寺周辺の良好な景観と環境保全に関する超高層オフィスビル(仮称)芝公園プロジェクトについての請願
- ▼介護職の待遇改善を求める請願
- ▼介護に従事する労働者への待遇改善を求める請願
- ▼「後期高齢者医療制度実施にともなう区民の負担増に対して軽減策を求める」請願
- ▼区民が必要な介護を受けられることを求める請願
- ▼港区立幼稚園で在園児の兄弟姉妹入園優先枠の設定、地域優先枠の設定に関する請願
- ▼「気候保護法(仮称)」の制定を求める意見書提出の請願
- ▼一日も早い待機児の解消を願う請願
- ▼運河沿い遊歩道の一部迂回を求める請願
- ▼港区における障害者等の個人情報に関する請願
- ▼港区立幼稚園における在園児兄弟姉妹優先枠の設定および地域優先枠の設定に関する請願
- ▼女子差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書提出の請願

危険を除去するために全力をあげ、安全を確保すること、救援の手が遅れて被害が拡大することがないよう迅速な対策が必要で、そのために政府があらゆる対策を尽くすことと、被災地の方々の実態と要望に応える緊急支援を強く求めるものです。

港区議会は、今回の地震・津波・原発災害で被害を受けた方々を支援するために、物心両面でのあらゆる支援を行うとともに、被災地の方々の苦難に思いを寄せ、区民の先頭に立って全力で支援を行うことを表明します。

### 港区議会

## 議員提案案件

- ▼国民健康保険料の値上げ中止を求める請願
- ▼少年数学級実施に関する請願
- ▼「港区職員の離職後の再就職に係る制限に関する条例(天下り禁止条例)」の制定を求める請願
- ▼みなと歌留多制作に関する請願

## 継続審査とした案件

### 決議しました(全文)

東北地方太平洋沖地震で被災された方々への支援に関する緊急決議

3月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震は、国内観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し、地震と津波による被害は甚大なものとなっています。

港区議会は区民を代表し、今回の地震と津波によって犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、被災地の方々に心からお見舞いを申し上げます。

今回の超巨大な地震・津波、その後、緊急に求められているのは、命の危険にさらされている方々、行方不明の方々の救助と捜索を行うこと、被災者への万全の支援、原子力発電所の災害や二次被害の

え、幼稚園教育職員の職を見直すことに伴い、規定を整備する「公益的法人等への港区職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例」(原案可決)

○主な質疑  
①副園長の職務内容について

○人事院規則の一部改正を踏まえ、外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員に支給する給与の算定方法を変更する「外国の地方公共団体の機関等に派遣される港区職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例」(原案可決)

○主な質疑  
①人事院規則改正の経緯について

○特別区人事委員会の意見を踏まえ、職員数の超過勤務手当に係る規定を整備する「港区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」(原案可決)

○主な質疑  
①条例改正の目的について

○特別区人事委員会の意見を踏まえ、幼稚園教育職員の職を見直すことに伴い、規定を整備する「港区職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例」(原案可決)

○主な質疑  
①教職調整額の支給範囲が見直される理由について

○平成22年度港区一般会計補正予算(第4号)、平成22年度港区国民健康保険事業会計補正予算(第2号)、平成22年度港区老人保健医療会計補正予算(第1号)、平成22年度港区後期高齢者医療会計補正予算(第2号)、平成22年度港区介護保険会計補正予算(第3号) 5議案(5案原案可決)

○主な質疑  
①最低制限価格を事前に公表した理由について

○平成23年度の「包括外部監査契約の締結について」(原案可決)

○主な質疑  
①経済性や効率性のみにとらわれないことなく監査を行う必要性について

○閉会中の委員会における活動

○港区政策創造研究所の設置について

○神明いきいきプラザ、神明子ども中高生プラザを新たに設置する「港区いきいきプラザ条例」の一部を改正する条例

○神明いきいきプラザ、神明子ども中高生プラザ条例の一部を改正する条例

○老人クラブの説明会等での改善要望及び意見について

○神明保育園を新たに設置するとともに、同保育園に指定管理者制度を導入するほか、保育園の管理運営に関する規定を整備する「港区立保育園条例」の全部改正(原案可決)

○主な質疑  
①歩道上での撮影における占用料について

○区立公園及び上下水道施設上部利用公園の公園占用料の額を改定するほか、指定管理者制度を導入する「港区立公園条例の一部を改正する条例」

○申請のない撮影者に対する区への対応について

○豊岡第二児童遊園を廃止する「港区立児童遊園条例の一部を改正する条例」(原案可決)

○防災資材置き場として活用する際の資材の搬出入の方法について

○三田福祉会館が三田いきいきプラザに移行することに伴い、三田福祉会館前公衆便所の名称を変更する「港区公衆便所条例の一部を改正する条例」(原案可決)

○公衆便所の清掃状況について

○閉会中の委員会における活動

○システム開発の遅延が判明するまでの区への対応について

○特別区人事委員会の意見を踏まえ、幼稚園教育職員の職を見直すことに伴い、規定を整備する「港区幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例」

○特別区人事委員会の勧告を受け、幼稚園教育職員の給与を改定するとともに、幼稚園教育職員の職を見直すことに伴い、規定を整備するほか、義務教育等教員特別手当の月額を改定する「港区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」

○特別区人事委員会の意見を踏まえ、幼稚園教育職員の職を見直すことに伴い、規定を整備する

○給与改定に伴う幼稚園教育職員の総人件費の増減について

○閉会中の委員会における活動

○平成23年度組織改正について

○閉会中の主な報告事項

○平成24年度以降の港清掃工場3炉稼動について

○閉会中の主な報告事項

## 常任委員会の活動記録

特別区人事委員会の意見を踏ま

## 特別委員会の活動記録

交通・環境等対策

行政改革対策

まちづくり子育て等対策

議案等の審議結果

各会派の態度 ○…賛成 ×…反対

第16期区議会 4年間のあゆみ  
(平成19年～平成23年)

平成23年 第1回定例会 案件名	議自 民団	議共 産団	議公 明団	民 フォー ラム 主	保 守 日 本	勇 気 の 会	仲 間 へ	党 み ん な の	議 決 結 果
議案第1号 公益的法人等への港区職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第2号 外国の地方公共団体の機関等に派遣される港区職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第3号 港区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第4号 港区職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第5号 港区特別区税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第6号 港区道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第7号 港区立公園条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第8号 港区立上下水道施設上部利用公園条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第9号 港区立児童遊園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第10号 港区公衆便所条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第11号 港区立いきいきプラザ条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第12号 港区立保育園条例	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第13号 港区立子ども中高生プラザ条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第14号 港区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第15号 港区幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第16号 港区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第17号 港区幼稚園教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第18号 平成22年度港区一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第19号 平成22年度港区国民健康保険事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第20号 平成22年度港区老人保健医療会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第21号 平成22年度港区後期高齢者医療会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第22号 平成22年度港区介護保険会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第23号 平成23年度港区一般会計予算	○	×	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第24号 平成23年度港区国民健康保険事業会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第25号 平成23年度港区後期高齢者医療会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第26号 平成23年度港区介護保険会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第27号 工事請負契約の承認について(田町駅東口北地区公共公益施設新築工事)	○	×	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第28号 包括外部監査契約の締結について	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願第22号 田町駅東口北地区公共公益施設に関する請願	×	○	×	×	×	×	×	○	不採択
請願第23号 2号 エンディングノート利用提案に関する請願	×	×	×	×	○	×	×	×	不採択
請願第23号 3号 絶対高さ制限の導入と天空率制度の見直しを求める請願	×	×	×	×	×	○	○	○	不採択
請願第23号 4号 絶対高さ制限の導入と天空率制度の見直しを求める請願	×	×	×	×	×	○	○	○	不採択
発案第23号 1号 東北地方太平洋沖地震で被災された方々への支援に関する緊急決議	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第29号 港区教育委員会委員の任命の同意について(綱川 智久氏)	○	退席	○	○	○	○	○	○	同意
議案第30号 港区教育委員会委員の任命の同意について(小島 洋祐氏)	○	×	○	○	○	○	×	×	同意
議案第31号 人権擁護委員候補者の推薦について(植村 登美子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

年	月日	ことがら
19	4.22	区議会議員選挙
	5.1	新議会発足
	5.24	第1回臨時会(初議会) 正・副議長選出、議会選出監査委員の選任同意、常任・運営委員会委員選出
	6.14 ～6.22	第2回定例会 (エレベーター事故対策など4特別委員会設置)
	9.13 ～10.4	第3回定例会 (三田中学校改築工事請負契約の承認)
	11.29 ～12.7	第4回定例会 (高陵中学校改築工事請負契約の承認)
	12.26	第2回臨時会 (港区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例を可決)
20	2.21 ～3.11	第1回定例会 (米海兵隊員による女子生徒暴行事件に抗議し、事件の再発防止を求める決議を可決)
	6.30 ～7.9	第2回定例会 (2期目を迎えた区長の施政方針を問う)
	9.18 ～10.10	第3回定例会 (事故米問題の全容解明と米の流通管理の徹底等を求める意見書を提出)
	11.27 ～12.5	第4回定例会 (周産期医療体制の充実に関する意見書を提出)
21	2.25 ～3.19	第1回定例会 (港区から暴力団追放・排除に関する緊急決議を可決)
	5.29	第1回臨時会 (区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を可決)
	6.10 ～6.19	第2回定例会 (みなと保健所庁舎改築工事請負契約の承認)
	9.16 ～10.9	第3回定例会 (新型インフルエンザの予防接種費用(優先接種対象者)の全額を区独自に助成するための補正予算を可決)
11.26 ～12.4	第4回定例会 (昨今の厳しい経済情勢の中、議員報酬のあり方を検討し、条例を改正)	
22	2.24 ～3.18	第1回定例会 (「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の採択に向けた意見書を可決)
	6.9 ～6.18	第2回定例会 (特定公共賃貸住宅シティハイツ竹芝で発生したエレベーター事故に係る損害賠償の請求に関する民事訴訟の提起を可決)
	9.16 ～10.8	第3回定例会 (緊急不況対策を盛り込んだ補正予算を可決)
	11.25 ～12.3	第4回定例会 (区議会議員の報酬月額及び期末手当の支給月数引き下げ)
23	2.23 ～3.17	第1回定例会 (予算特別委員会で震災対策に関する集中審議を行い、被災された方々への支援に関する緊急決議を可決しました。)



左から秋山俊之知事本局長、武井雅昭区長、島田幸雄議長、達下マサ子副議長

**米軍ヘリポート基地の撤去・返還を要請**  
港区には23区唯一の米軍基地(六本木七丁目23番・国立新美術館隣)があり、米軍ヘリコプターの離発着による騒音と事故発生の危険性が問題となっています。2月1日区議会では、議長、副議長及び各会派の代表並びに区長とともに東京都庁を訪ね東京都知事に対し、要請書を提出しました。区議会は区とともに撤去・返還要請の活動を続けます。

あとかぎ

3月11日14時46分頃に発生し、未曾有の被害をもたらした「東日本大震災」で不幸にして亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々の1日も早い復興を祈念してまいります。  
区議会では、3月22日に日本赤十字社を通じてお見舞金をお届けしました。  
平成19年5月から4年間の任期でありました第16期の港区議会は、4月で任期が終了します。次の議会は、改選後に臨時会が5月、第2回定例会は6月に開会される予定です。  
編集委員一同

島 鈴井 藤 渡 樋 沖 風 杉 菅 森 林 阿 鈴 星 熊 う 清 池 達 古 七 水 不 赤 二 ゆ 杉 近 杉 山 小 大  
か 野 かの 坂 う 本  
田 木 筒 本 辺 渡 島 見 原 野 野 田 部 木 野 田 い 原 田 下 川 戸 ま く 島 き 藤 浦 本 斉 滝  
む え ま だ と  
(議 幸 た 宣 専 紀 え 利 と 弘 弘 和 浩 洋 ち 雅 和 こ マ 伸 ね い 豊 く よ ま の 閉 太  
席 け 潔 太 和 み し 司 喬 づ う サ 淳 ひ 由 正 す み ひ さ り 留 実  
番 雄 し 弘 郎 子 子 男 お 一 郎 雄 子 一 子 彦 幸 じ 子 一 ろ 紀 一 け 司 こ ろ 子 お 巳 郎  
号 順)